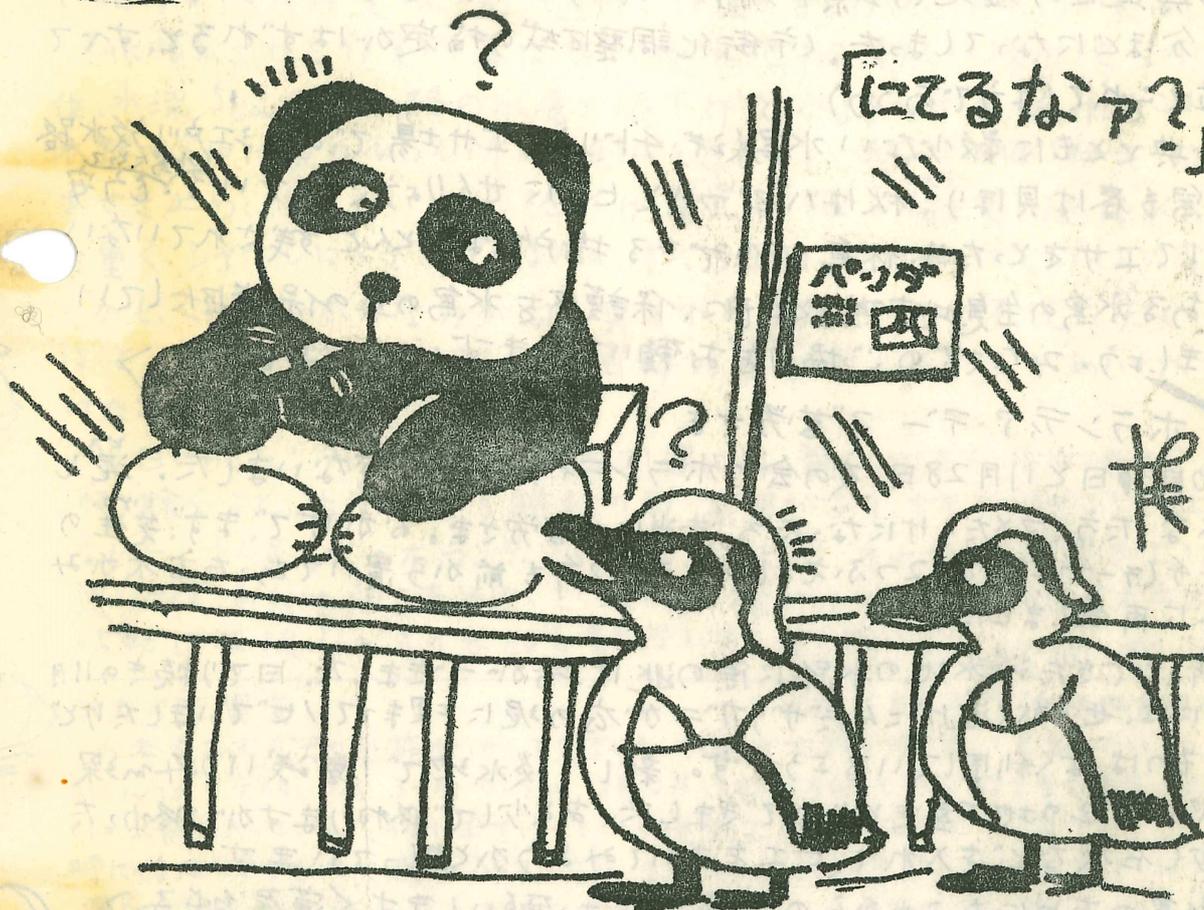




すずかも通信 No.16

1982.12.1

行徳野鳥観察舎友の会会報



市川拓(塩浜小6年)

ちんちん千鳥

ちんちん千鳥の暗く夜さは、
暗く夜さは、
硝子戸しめてもまだ寒い、
まだ寒い。

ちんちん千鳥の暗く声は、
暗く声は、
燈を消してもまだ消えぬ、
まだ消えぬ。

ちんちん千鳥は親ないか、
親ないか、
夜風に吹かれて川の上、
川の上。

ちんちん千鳥よ、お寝らぬか、
お寝らぬか、
夜明の明星が早や白む、
早や白む。

(北原白秋)

—はあと— 1982年から'83年にむけて

今冬は例年になく、スズカモが少ない。これは、日本にやってきたスズカモの個体数が少ないのではないかとと思われる。シギ、チドリも、今秋は非常に少なく、異常気象による個体数減少が原因と思われる。多くの場所でカモ類の個体数が少ない。

妙典地区の湿地(アズ原や沼やハス田)が次々と埋立てられ、数年前の半分ほどになってしまった。(市街化調整区域の指定がはずれると、すべて埋立てられてしまうであろう)

妙典とともに数少ない水鳥(シギ、チドリ)の工場地である江戸川(水路)干潟も春は貝ほり、秋はハセつりとヒトにせんりょうされている。もう安心してエサをとり、休息したりできる場所はほとんど残されていない。今ある水鳥の生息地を残すとともに、保護区を水鳥の真の保護区にしたい。皆さんのご協力をお願い致します。く田久保晴孝

ポランティア・デー ご苦労さま

10月3日と11月28日、友の会のボランティアの日を行いました。泥んこになった方、マメだらけになった方、本当にご苦労さま。おかげで、芝生のベンチ(テーブル?)が2つふえました。もう2年も前から置いてあった古木がみごとに再生しました。

新しくできた淡水池の水路に魚の逃げ場ができました。白でり続きの11月28日には、せつかく逃げこんだザリガニが衣の泥に埋まってノビていました。生きものは、よく利用しているようです。新しい淡水池で1番浅い0.4m深の池で、アリの地下室をとりのできました。あと少して終わりますが、終わらないうちに石灰などをに入れて、ヒエをまいてみようかと思っています。

水鳥のためにもここからのご協力をお願いします。く蓮尾純子

—さえざり— 10.31 ボランティア活動に参加して

私は、53年11月、蓮尾さんのお誘いで野鳥の会に入り、満4年になります。もともと動物女子会で動物園によくいったり、犬、猫、小鳥も飼ったことがあります。しかし、野鳥のものからはほど遠いものです。それがプロミナを通して野鳥の「野鳥」と「自然」の姿には、ただ感動あるのみ……糸川のトリキキへの道が始まったのです。

ただ、野鳥がみたく、宮城県伊豆沼、石川県の片野鴨池、北海道のウトナイ湖、ハケ岳、軽井沢と鳥を求めて歩きましたが、ここからは月夜を満ちつけ、じっくり地元の鳥をみたり、私のできるボランティア活動を考えてあります。さいわいなことに、さる8月20日に観察舎へ歩いて10分位の塩浜(イタウレ)に引越してきました。14階なので観察舎がいな



カット市川原



からにして観察できます。

観察舎へ、引越して以来13回も通いました。夜の虫の声を聞く会にも参加できて多に満足しています。

さて、前おぎが長くなりましたが、10月31日、午後1時30分、ボランティア活動に参加するため観察舎へ……。蓮尾純子さんから参加者11人の紹介があり、作業現場へ直行、作業の割り振りをし、作業開始。私に指示された作業内容は古い淡水池から新しい淡水池への市川5m位、水深5cm位の水路の水底を掘下げと水路の中の菰(これは、水路の途中に魚のひなん所を目的にしたもの)、みなの防動です。水路をせき止め、水さかい出し、掘下げ作業開始。粘土質の泥は水分を含み重く、シャベルにくっついてはなれず、50才に近い私にとっては大変でした。しかし、このような小さな力が破壊された自然を少しでも元に戻せるならばと一生けん命にやりました。木曾の森さんには、ごめいわくをかけたと思います。

当日のボランティア活動の作業内容には、新しくできた淡水池のアミを取り除くこと、古木による施設の整備等があり、夕方4時半ごろ終了しました。十人足らずのボランティア活動でしたが、それなりの成果が上がったと思います。自然を守るために、ご理解を深めていただき、次回のボランティア活動には沢山の参加を期待いたしたいと思います。く大園朗

スズカモ異変

今年もスズカモの季節がやってきました。水面は大群がまじり……。と書きたいところですが、11/30 7千羽、12/1 3千羽→15羽、12月2日 3万~5万羽と目によってまちまち、おまけに田の出前に入って、田没後に出ていくという規則正しい生活がどうもあやしい。時には10時すぎに大群が入ってきたり、また「明るいうち」出ていったり。運がよければ大群が空にまじり、さかみろみろ、運が悪いと中合に200羽程度。でもチドリがモヤセガロカモをばいめやはり冬鳥の季節はみごたえある時です。理由は何なのだろう、日没後の田の全域にわたる田の種まきと関係ありそう。『花よりコーナ』回覧室に大園さんの奥様、みき江さんのすてきな七宝の花まきらせていたたいています。観察舎にいらしたらぜひお見せ下さい。

く蓮尾純子 (行徳野鳥観察舎)

自然の国から 星に祈りを

常日ごろ、澄みきった冬の夜空の美しさを娘に見せてあげようと思っていたので、出先からの帰りが夜の十時ごろとなってしまった日のこと、これ幸いとして帰る道を還り、空の大きき見える空地を選んで帰ることにしました。空地から見上げた夜空には星が美しく輝いていました。

娘の目も、多くの星を見るのは初めてとあって輝いています。寒空に体の冷えるのも忘れて、夫は星オンチの私

田久保文子

に教えこもうと講義を始めました。星座は季節や時間が異なることによつて見えるものが違ってくることや、星座の一日の動きは東から西へと回って見えること、これは地球が地軸を中心に一日一回、西から東へ自転するからであることなど、そして天頂から南に見える星は、オリオン座、おおひぬ、こいぬ、カシオペア、ふたご座、……などと、次から次に教えてくれるのですが、一度聞いただけでは、どうも覚えられそうにありません。せめて一

つだけどもと、北極星におかい「星」が今以上に破壊されず、人も動物も木も花も草も虫も貝も魚も、生き物すべてが仲よく生きていられるようにと星に祈りを捧げました。地球も人も一度は光り輝いていた星(物質)からできたそうです。あわりの*星…金星や火星のように自分では光を出さないが、太陽の光をうけて明るく見える星(惑星)と太陽と同じように自ら光を出して輝いている星(恒星)がある。たくさん星、星をひく星は恒星です。

すずがも通信 No.16 訂正

スズガモの飛びたちをみる会

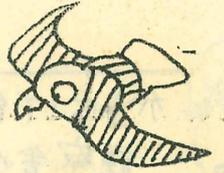
集合：野鳥観察舎前午後4時

解散：6時頃

▷ スズガモが少ない場合は、夕方ねぐらに入る鳥の観察をします。

年末年始休館

12月29日(水)から1月3日(月)まで



たちをみる会

1月9日(日) 23日(日)

間ずらとみられるか
(30分)海へエサをとり
前30分(3)になると保子
(今冬はちとあかいが?)
<30分の間にとび出して
しいものです。要防犯具

帰還をみる会

午前5時50分~8時

午前5時50分

午前8時ころの予定

定例園内せむ観察会<観察会主催>

12/19, 1/16, 2/6, 2/20, 3/6
(毎月ホ1, ホ3日曜日)

集合：野鳥観察舎前 午後1時30分

解散： ” ” 午後4時ころ

観察路約3.5km歩きます。

行徳駅 N
案内 行徳駅より、海岸(南の方へ)へ2.3km
トホやく35分で海岸へてます。
要防犯具、おはばは双眼鏡など
数万(数千)のスズガモは、夜海で
エサをとり、月の出前にもどつてきます
ネカ日とスズガモの群すばういです。
782年は晴れましたかさて783年は?

— 観察舎より — 年末・年始の休館のお知らせ

782 12月28日(火)~783 1月4日(火)まで、年末・
年始の休館いたします。(ただし元旦の7時ころ3~
9時ころまで蓮尾さんの好意で開館いたします)

なお、観察舎前の道から鳥を見学することは自由
です。野鳥病院(鳥こや)にも鳥がいますヨ。

開館 午前9時~午後5時

休館 毎週月曜日、毎月末の金曜日

休日(祝日)の聖日、月曜が休みの
ときは、火・水休み。

歳末スライド会

12月26日 13:30~16:00

場所 観察舎1階 視聴覚室

案内 みんなのためのスライド(35mmカラー)
をもちよったスライド会を開きますので、せむ
お知り合いの方などをさそって参加して下さい。
(今回は会場のついで、友の会内部行事)
スライドを持ちよる方は、前日まで、
内容などを観察舎(蓮尾)までご連絡下さい。



— 事務局より —

来年度の会費をおおさめ下さい。年会費 普通1,000円、賛助2,000円以上、ジュニア500円
(小・中・高校生)
(観察舎において、会費をおすかしてもらえます) 782年の会費もお預ります。

来年度のカレンダーを販売しています(会員割3,100円→800円)せむおかい求め下さい。
その他、お会はがき、鳥のマスコット、本などを販売しています。

— 編集こうき — だいがおおく来て申しわけありません。来年度は定期発行をせむざしたい
と思っておりますのでよろしく。大塚さんが編集のお手伝いをしていただけのことになりました(はるたか)

すずがも通信

No.16

1980年12月1日発行

振替 仙台—6129

年会費 1000円

発行人 亀谷 栄

事務局 鈴木 有方

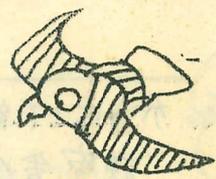
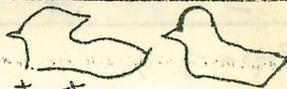
編集人 田久保晴孝・文子

観察舎 〒272-01 市川市福栄4の22の11 TEL 0473(97)9046

4 (068)



行事案内



だれでも自由に参加できます。

新浜(行徳)自然観察会

12月12日(日), 1月9日(日), 2月13日(日)
(毎月★2日曜日)

集合: 東西線行徳駅広場 10時

解散: 野鳥観察舎 午後2時30分

案内: わずかに残されている^{みどり}妙典地区の湿地や保護区でカモ、サギ、カモ×バンなどの水鳥を中心に動植物の観察をします。(午前中に江戸川水路、妙典の観察を、午後は保護区内を歩行。水と、両具防蹠具を必ず着用!)



スズガモの飛ぶかたちをみる会

12月26日(日) 1月9日(日) 23日(日)

スズガモ連は冬の間ずっとみられるが夜になると(日の入後30分)海へエサをとりに出かけ朝(日の出前30分ころ)になると保護区へもどってきます。(今冬はちとおかしいかな?) 数万(十)のカモがやく30分の間にとび出していく姿と音はすばらしいものです。要防蹠具

初日とスズガモの帰還をみる会

783年 1月1日(午前5時50分~8時)

集合 塩浜海岸 午前5時50分

解散 観察舎前 午前8時ころ予定

案内 行徳駅より、海岸(南の方へ)へ2.3kmほど歩くとホヤく35分で海岸へです。要防蹠具、おはばは双眼鏡など。数万(数千)のスズガモは、夜海でエサをとり、日の出前にもどってきます。初日とスズガモの群すばらしいです。782年は晴れましたかさて783年は?

定例園内せむ観察会<観察舎主催>

12/19, 1/16, 2/6, 2/20, 3/6
(毎月★1, ★3日曜日)

集合: 野鳥観察舎前 午後1時30分

解散: " 午後4時ころ

観察路約3.5km歩きます。

観察舎より一年末・年始の休館のお知らせ

782 12月28日(火)~783 1月4日(火)まで、年末・年始の休館いたします。(ただし元旦の7時ころ~9時ころまで蓮尾さんの好意で開館いたします)

なお観察舎前の道から鳥を見学することは自由です。野鳥病院(鳥ごや)にも鳥がいますよ。

開館 午前9時~午後5時

休館 毎週月曜日, 毎月末の金曜日

休日(祝日)の聖日, 月曜が休みのときは、火・水休み。

歳末スライド会

12月26日 13:30~16:00

場所 観察舎1階視聴覚室

案内 みんなのためのスライド(35mmカラー)をもちよったスライド会を開きますので、ぜひお知り合いの方などをさそって参加して下さい。(今回は会場のついで、友の会内都行事)スライドを持ちよる方は、前日まで。内容などを観察舎(蓮尾)までご連絡下さい。



事務局より

来年度の会費をおおさめ下さい。年会費 普通1,000円, 賛助2,000円以上, ジュニア500円(小・中・高校生) (観察舎において、会費をおすかしていただきます) 782年の会費もお預りします。

来年度のカレンダーを販売しています(会員割引1,800円→800円)ぜひお買い求め下さい。その他、社会はがき、鳥のマスコット、本などを販売しています。

編集者こうき だいぶおく水て申しわけありません。来年度は定期発行を止めたいと思いますのでよろしく。大塚さんが編集のお手伝をしていただけたことになりました(たはるたか)

すすかも通信

No. 16
1980年12月1日発行
振替 仙台-6129
年会費 1000円

発行人 亀谷 栄
事務局 鈴木 有方
編集人 田久保晴孝・文子
編集舎 〒272-01 市川市福栄4の22の11 TEL 0473(97)9046